

Cente Technical Information

発行番号	002-0021	Rev	第1版	発行日	2020/07/17
題名	DHCPv6がIPv6アドレス更新に失敗したとき、古いIPv6アドレスが残る現象について				
情報分類	障害情報				
適用製品	<ul style="list-style-type: none">•Cente IPv6 Ver.1.30 - Ver.1.45•Cente IPv6 SNMPv2 Ver.2.10 - Ver.2.22•Cente IPv6 SNMPv3 Ver.2.10 - Ver.2.22				
関連資料	なし				
<p>【該当するユーザ環境】 DHCPv6を使用しているユーザ。</p> <p>【障害内容】 DHCPv6にてIPv6アドレスが割り当てられたのち、サーバが指定した時間経過後に更新(Renew/Rebind)リクエストを送信します。このとき、サーバが再起動して割り当て情報が失われたなどの理由でサーバから否定(Nak)応答を受信することがあります。 再度割り当て手順を実行して新たなIPv6アドレスが割り当てられますが、更新に失敗した古いIPv6アドレスが削除されずに残っていました。 自IPv6アドレスは複数持つことが可能で、新たなIPv6アドレスは上書きされず、最大数(デフォルト:5)まで保持します。</p> <p>【発生理由】 更新(Renew/Rebind)リクエストに対する応答処理にて、Nak受信時に対象のIPv6アドレスを削除する処理が不足していました。</p> <p>【回避方法】 ソースコードの変更が必要です。 修正箇所については、support_XXXatmarkXXX_cente.jpまでお問い合わせください(XXXatmarkXXX_は@にしてください)。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>					